

令和3年度 乙訓圏域新任職員連続講座（第1回 10/1）

「よくわかる訪問看護ステーションのなかみ・なやみ」

講師：（医）総心会 訪問看護ステーション「ふれあい」所長 金森千絵子氏

＜出席者＞らうれあ、長岡京市障がい福祉課、向日市障がい者支援課、エンデバージャパン、ウィキッズ、乙訓若竹苑、大山崎社協、長岡京障がい福祉療育会（たけのこ）、こらぼねっと京都、乙訓ポニーの学校、てくてく（あっとほーむ）

1 今日の研修についての感想等、自由に記入してください。 17 件の回答

地域の実情などを知れてとても興味深い話でした。

訪問看護がどのようなお仕事をしているのか知ることが出来て良かったです。また24時間体制でいつでも駆けつけるようにできるのは凄いなと思いました。

私の事業所では訪問介護を利用されている方がおられないので、お話を聞くことができ大変勉強になりました。利用者の方のご意向に沿って支援をするという方針は福祉の中でも大切な視点だと思います。同じ思いの中でそれぞれの役割を見出し分担したり協力したりしながら利用者の方の日常が豊かになるように、今後も支援をしていきたいと改めて感じました。

初めて訪問看護について学ばせて頂きました。ありがとうございます。内容も詳しく訪問介護の大変さがわかりました。ホームページでも勉強していきたいと思います。

HHの時などに一緒にお仕事をさせて頂いていたので、詳しく知れて良かったです

訪問看護制度の概要や訪問看護サービスの内容について、学ぶことが出来ました。介護保険か医療保険のどちらで対応するかの説明もあり、大変勉強になりました。小児のケースも増えてきたようで、地域、家庭でご家族と生活しながら医療ケアを受けれる体制がもっともっと充実していければいいなと感じました。ご家族の負担の軽減やサポートの充実も不可欠だと思いました。とても学びの多い内容でした、ありがとうございました。

今回の訪問看護の研修を受講しようと思ったきっかけは義父、義母の今後の生活において関わるであろうサービスだったからです。近くに住んでいますが老々介護になっていることと服薬管理が曖昧になってきているので、もっと訪問看護について知りたかったからです。病院の看護師さんは患者さんと、訪問の看護師さんは利用者さんと呼ぶなど、言われてみればそうなんや…って気づいたり、家族との関係づくりに重点をおいて面談をする大事さなど金森さんのお話はとてもわかりやすく聞きやすかったです。参考になりました。ありがとうございました。

介護保険より医療保険が優先される疾病について示していただき、ケース対応で腑に落ちました。今後も訪問看護さんと積極的にやり取りしていきたいと思えます。

訪問看護についての理解が深まりました。健康推進課に所属していた時に対象児童の退院にあたって病院から訪問看護と訪問リハビリを導入したいと相談を受けたが、私自身が当時どこに訪問看護ステーションがあるのかを知らなくて、困ったことがあったので、今回、訪問看護ステーションの一覧が調べられると教えていただき、助かりました。訪問看護は病院からの依頼でないとい依頼ができないかと思ったら、お話の中で行政から直接訪問看護ステーションに相談が入る場合があったり、介護保険の場合はケアマネージャーからの依頼が多いという現状も知らなかったですし、介護保険で訪問看護を利用する場合、対象の疾病など細かい規定があることも知らなかったので、とても勉強になりました。

訪問看護ステーションの役割について分かりやすく学ぶことができました。利用者さんが住み慣れた地域で生活を送るうえでなくてはならない存在であることを認識しました。利用者個々に合わせた細やかな配慮に加え、決まった時間内での適切なケアをおこなう必要があること、緊急時の判断など訪問看護という仕事の難しさについても話していただき日々奮闘されてるのだなと感じます。私の事業所には訪問看護を利用している方は少ないですが、もし導入される場合は綿密に連携してチームで支えられるよう心がけていきたいと思えます。

制度の歴史や乙訓圏域の状況も踏まえた内容で、わかりやすかったです。精神障害の方の自立支援医療での訪問看護の話も、聞きたかったです。

対象者、利用料金、回数、訪看が問題と感じていることなど、話が聞けてよかったです。

とても内容の濃い研修でした。抱え込まない体制を作ってらっしゃること、緊急の判断が必要な時のために利用者の方のご希望を普段から聞いておくことなど、細やかに対応されているのがよく分かりました。

訪問看護のことを詳しく知りませんでしたが、初歩的なところから丁寧に教えていただき、わかりやすかったです。保険によって、利用回数や料金が変わることを知り、とても勉強になりました。

障がい福祉に関わるお仕事に携わる中で、医療に関する知識の必要性を日々感じております。今回の研修で訪問看護がどういった制度に基づき支援しておられるのか理解することができ、医療的ケア児や介護保険対象者なの障がい福祉サービスの利用希望が増えてきている中、医療保険や介護保険の制度について知ることができ勉強になりました。訪問看護の対象は年齢も疾患も様々で、1人で訪問して対応しておられる職員の方の経験値の深さを感じました。また、30分の訪問希望が増えていると聞き、限られた時間の中でケアを提供することの難しさを感じました。訪問看護の方の支援に感銘

を受けつつ、地域に暮らす利用者にこれほど近くで関わっている医療従事者ともっと連携できる環境づくりが課題であると思いました。 貴重なお話ありがとうございました。

圏域の障がい福祉の内容や制度のこと等、今さらだけれど聞いてみたい、少しでも理解した上で業務に活かしたいと思っていたのでよかった。訪看さんが日々の支援の中で難しいと感じておられること、大切にされていることを直接お聞きでき、家族や支援者が連携しながらサポートしていく大切さを改めて実感でした。 また、医療保険と介護保険の違い等も分かりやすく、大変参考になりました。

訪問看護について知らないことばかりだったので、とても勉強になった。医療的ケア児の対応をしておられるステーションは、まだそんなに多くないのかなと思うので、子どもたちが地域で育つのに、欠かせない部分を長く担ってくださっていることを知れて本当によかった。貴重なお話をありがとうございました。

「よくわかる支援学校進路指導のなかみ・なやみ」

講師：京都府立向日が丘支援学校進路部長 木田聡氏

<出席者>長岡京市障がい福祉課、長岡京市健康づくり推進課、向日市障がい者支援課、乙訓教育局、京都西の丘教育相談センター、KT ワーカーズ、らうれあ、乙訓若竹苑、大山崎町社協、エンデバーージャパン、ウィキッズ、長岡京障がい福祉療育会(たけのこ)、こらぼねっと京都、向日が丘支援学校、ぽっとまむ、乙訓ポニーの学校、てくてく(あっとホーム)、向日市社協

1 今日の研修についての感想等、自由に記入してください。 25件の回答

支援学校の進路指導での流れや実践されていることを学ぶことができました。就労など直近の将来だけでなく長い人生の中で大切なことを意識的に見ていくようにし、その人の日々が充実していけるような支援をしていきたいと思います。卒業後を支援者側がイメージしていけるようにしていきたいと思います。

支援学校の方がどんな所に就職しているのか分かってよかったです。

実習生や卒業生が成長される姿が紹介されていて、とても感動いたしました。

支援学校が実際行っている進路指導についての詳細が聞けて勉強になりました。放課後等デイサービスとしても進路含め子どもたち1人ひとりの将来の選択肢を増やすことが出来るようサポートしていかないといけないと改めて感じました。

自分は大阪府に去年まで居り、就労継続支援事業所B型・生活介護事業所に携わっておりました。大阪の支援学校がいけないという事ではないですが、進路に関してここまで深く考えて動いていらっしやっただかと思うと、大阪時代の私の考え方がいかに稚拙であったかを感じます。事業所はあくまでも学校を卒業した人の受け皿としてしか考えていませんでした。今後、私自身の所属する事業所は放課後デイですが、そこを踏まえて子供たちを支援したいと考えました。

本日はありがとうございました。たけのこでも支援学校の中学部、高等部の利用者さんが多くいられ保護者の方から卒業後の進路について相談をうけることが多くなりました。今日の研修を踏まえて、利用者さんの将来がより良いものになるよう保護者の方、並びに関係機関の皆様と共に考えていきたいと思えます。

先週は仕事の関係で参加出来ずに申し訳ございませんでした。何をすることも意欲が大切と当たり前だけど生活をしていると薄れて行く大切な事を思い出させて頂きました。ありがとうございました。来週も楽しみにしております。

進路指導のスケジュールや体験実習の位置づけなどを知ることが出来、大変勉強になりました。職業準備性のピラミッドの基礎になる本人の意欲、本当に大切だなあと感じます。子どもたちの意欲が育まれるような実践を日々心がけたいと思います。自己理解をいかに深めていけるかも大切だと思います。先送りにするのではなく、それぞれの段階で理解していけるよう支援していきたいです。今日は、ありがとうございました。

貴重なお時間ありがとうございました。進路で大切なのは本人の意欲、気持ちが大事だと思いました。仲間やお金を稼いで目的があれば変わるのかと思いました。いい人に出会い生きがいを持って皆さん頑張ってもらいたいと思いました。

向日が丘を卒業した生徒がどのように働いていたり、進路部として、どのような考えで生徒の進路を考えているのかが具体的にわかったので、非常にありがたい研修でした。ありがとうございました。

若い先生に対してのご指導など、ご苦勞を垣間見させていただきました。学生時代をいかに充実して過ごすかが今後の人生に影響を及ぼすということに、自分のことに置き換えて大変共感しました。また、訪問生活介護事業のことなど知らなかったので勉強になりました。ありがとうございました。

木田先生、お疲れ様でした。学校のなか（や）みを、網羅してお伝えいただけましたと思います。校内において、進路指導に関する課題は色々と思うところがありますので、木田先生とともに、進路担当として解決に努めてまいりたいと思います。関係機関の皆様には、これからも色々とお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

支援校の進路の先生としてご講義頂きありがとうございました。進路指導の視点からの様々な大切なことを教えて頂きとても勉強になりました。実際の卒業生の方の様子もふまえてお聞きできてとても参考になりました。皆さん自信に満ちた笑顔、笑顔がとても印象的です。生徒の方が社会にでてどう過ごしていくのか、大切にされているところを知れて今後の自分の関わりにも活かしていきたいです。ありがとうございました。

障がい者支援課に異動してきたばかりで、進路相談の流れや学校での取り組みについて、知らないことも多く、とても勉強になりました。高校一年生の時から一人一人のその子の将来、進路を見据えて、動き出しており、手厚くさまざまな取り組みをされていることに驚きました。中学校での進路相談において、本人が納得しない上で進学してきた際の葛藤や、学校内の先生間の理解の度合いの違いなど、先生方が苦勞されている点も知れて、参考になりました。行政にいる立場としては、学校と同じ思いで対象者の方と関わり、卒業後の地域での支援につなげていけたらと思います。

研修、ありがとうございました。問題、課題を先送りにしているという言葉がとても印象に残りました。また来週の研修もよろしくお願いいたします。

支援校の進路の動きや、生徒さんに合わせた進路相談の細やかさを知ることができました。ありがとうございました。

若竹苑での日中一時を支援校の方もご利用されています。私も中学部、高等部の方の卒業後の進路先が気になっていた矢先の研修だったので参加させてもらいました。高校1年から3年まで計4回の体験実習を行い、進路相談や進路実習、引継実習の後決定する。教員、家庭、本人の意識が同じ方向に向かないと頭打ちになる。そして本人に将来の姿をより具体化させる。確かに卒業後の人生は長いです。自分にあう施設や職場が見つければ幸せだと思いますが、周りの理解(特に職場)が大切なんだと思いました。資料に添付されていた写真を見て頑張れと応援したいです。人としての成長と他人への気遣いなど今後の人生に幸あれ…です。ありがとうございました。

支援学校の進路指導の流れや、その時々で、何を大事にサポートされているのかということが分かった。相談支援の利用者の中に高校生の方がおられ、最近、保護者の方だけでなく、本人とも話をする機会が増えた。今日学んだことを頭に置きながら、相談に応じていくことができればと思う。また、必要に応じて関係機関が連携を取りながら進めていくことの大切さも感じた。進路について、どこどこに行くことがゴールではなく、これからの長い人生、〇〇がしたいと思える生活、そう思えるような経験が必要など、とても大切な話だったと思います。

進路までのスケジュールを具体的に知ることができて良かったです。就職することの難しさや、本人の意欲がとても大切だということに気付かされました。ご家族と話す時の参考にさせていただきます。貴重な話、ありがとうございました。

先生の話はわかりやすく、楽しく聞かせていただきました。一番は、障害のある子ども達の、進路や教育をこえ、一生を踏まえて考える姿勢に共感しました。また、学校内の実情も踏まえて、何点か課題として話されていた内の、若い先生達への思いに、卒業後にバトンを受ける私達が何かお手伝いできないのかと考えさせられました。

研修を通して、支援校の先生から見た進路の実態について知ることができました。その中で特に印象的だったことは「生徒自身の納得と選択」を大切にしているということです。周りから決められた進学により、「こんな学校来たくなかった」と話す生徒がいて、進路においても本人以外の者が決めてしまうと同じように本人が苦しむということを聞き、人生における自己決定をすることの重要性を感じました。また、成功体験だけでなく、失敗した時にどうしようとする力や失敗をどうしたら成功に繋げられるか考える力が大事なのではという意見にも納得させられました。失敗のその先にどうしていくか考える力が大事だということは自分自身も働く中で意識していきたいと思いました。たけのご実習中の卒業生の行動には働くことによる人としての成長に感動しました。先輩(卒業生)であるという役割を意識した行動でもあるのかなと思いました。

一点リクエストで、進路指導のことだけでなく特別支援学校内での学びや過ごし方をもう少し触れただけであればより特別支援学校の中身について理解を深められたかなと思います。

進路について、何度も面談や体験を重ねていることを初めて知りました。進路においても丁寧な支援が必要なのだと感じました。事例の中で、卒業生達が好きなことを見つけ、働いていたり過ごしてたりする姿を見ると、今関わっている子供達が同じように生き生きと過ごせるために、どんな支援が出来るだろうかと考えさせられました。

支援学校に通う子の進路について、なかなか知る機会が無かったので、流れや体験学習について知れてよかったです。卒業後も、定期的に相談を受けられることは両親も安心につながるので、知れて良かったです。

令和3年度 乙訓圏域新任職員連続講座（第3回 10/15）

「よくわかるこども発達支援センターのなかみ・なやみ」

講師：京都府立こども発達支援センター技術次長 則枝勝也氏

＜出席者＞長岡京障がい福祉課、向日市障がい者支援課、長岡京市健康づくり推進課、向日が丘支援学校、京都西の丘教育相談センター、KTワーカーズ、らうれあ、乙訓若竹苑、大山崎社協、エンデバージャパン、長岡京障がい福祉療育会（たけのこ）、こらぼねっと京都、ぽっとまむ、乙訓ポニーの学校、てくてく（あっとホーム）、乙訓ひまわり園

1 今日の研修についての感想等、自由に記入してください。20件の回答

新任保健師です。ステップセンターさんについて詳しくしれて良かったです。

年間計画や学校との連携をはじめ、不登校児への対応等、子供達への丁寧な取組だけでなく、保護者支援も丁寧にされておられることを知ることができました。貴重なお話をありがとうございました。

様々な施設や特徴、課題などを知ることができました。とてもわかりやすかったです。行政として、ご案内をしていく側ではありますが、まずは私達ができることとしてきちんと評価すること、適切に連携していくことだと感じました。日頃からセンター、事業所の方、教育機関の方と関わりをもっていくことも大切だと思いました。色々と感じ、考えるととても良い機会を頂きありがとうございました。

子供の発達支援について興味あるので勉強していきたいです。

具体的な取組内容が聞けて今後の参考になりました。

写真付きのプリントにそっての説明で、想像しやすかったです。

様々な支援がある事を知りました。とても勉強になりました。

同じ事業だということもあり大変勉強になりました。明日からの療育につながることをたくさん教えていただいたので生かしていきたいと思います。保育所等訪問支援事業についても、教えていただいたので地域とのつながりを作り、利用者の方々の過ごしやすさにつなげたいと思います。

地域の機関である発達支援センターの役割、仕組みを分かりやすく伝えて頂いて良かったです。すてっぷセンターに通われているお子様が、来年度当放課後等デイサービスの利用を希望されているので、今後ぜひとも連携を図らせて頂きたいと思います。

本日も講座ありがとうございました。障害者の支援をするあたりいろいろ施設があり大変、勉強になりました。

障害者の方を地域で見守り成長して頂くことは大事だと思いました。事業所の横のつながりも大事だと実感しました。本当にありがとうございました。

すてっぷセンターの児童発達支援や放課後デイサービスの話聞いて良かったです。放課後デイサービスのSSTは、興味のある保護者も居るので、話をしていけたらと思いました。

普段の仕事の中で、ステップセンターという名前はよく耳にするのですが、ホームページを見たり、先輩方に聞いて、なんとなく理解していましたが、京都府立こども発達支援センターについて、わかりやすく詳しく教えていただき、詳しく知ることが出来ました。児童発達支援の福祉型と医療型の違いや利用数なども知れ、勉強になりました。放課後デイのSSTの内容も参考になりました。ありがとうございます。

放課後デイや通所事業の内容が、よく理解できました。京都府の南部地域の障害のある児童の総合相談の窓口であると理解していますが、それで正しいのか？どのような相談があり、どのような方なら紹介したらいいのか、もう少し聞きたかったです。

児童発達のことには特化して運営しているセンターで、あらゆるサービスも展開されていることが分かりました。

お世話になっている事業所さんですが、詳しいことは知らなかったのが、今回知ることができてよかったです。お話でもおっしゃってましたが、見学にいかせていただいたり、来ていただいたりしながら連携をとっていければいいなと思いました。

今回はこども発達支援センターのなか(や)みの研修でした。児童発達支援は障害児とその家族に療育を提供し成人期を見越した支援を行う目的で作られた施設です。若竹苑の隣はポニーの学校で元気な子ども達の声が聞こえてきており、生活力やコミュニケーション力の向上を伸ばす為に遊びの中で療育を行っておられます。情報過多による混乱などがあるために親御さんの支援も大事とわかりました。療育から始まり放課後デイサービスになり 障害者福祉施設などに移行する...全ては繋がっていて、子ども達の将来には必要不可欠な施設があるのだと知れた研修でした。研修に参加できて良かったです。ありがとうございました。

圏域には児発センターが無く、今後こういった形で、児発センターを立ち上げていくのが課題になっています。そういった運営面などもまた、お話聞かせていただけたらとは思いました。

こども発達支援センターについて、児童発達支援事業の療育内容や放課後等デイサービスのプログラム内容がよくわかりました。放課後等デイサービスについては抱いていたイメージよりもSSTなどを活かした年間プログラムがきっちりしているなという印象を受けました。昨今放課後等デイサービスを扱う事業所が増えてきていますので、他の取組事例なども是非知りたいと思います。また、こども発達支援センター全体で、学校や保育所などの他機関、医師やセラピストといった他職種との他職種との連携が重要だということを理解しました。

不登校児対象の時間があり、そこに学校の先生に来てもらって子どもに関わってもらうなど、不登校児に対しての取組内容がとても興味深かったです。行われている事業やそれぞれの内容を詳しく知ることができました。ありがとうございました。

こども発達支援センターで取り組まれている内容について、初めて知ることも多く、とても参考になりました。放課後等デイサービスに関しては、計画をきちりと立て、1年間という期日を設けて目標に向かって関わっていることを知り、実際にどんな感じでSSTや座学に取り組まれているのか、ぜひ今後機会があれば、見学したいと思いました。

- ・新人なので、学ぶ必要のあるテーマはたくさんあります。1番の希望は、コロナ禍では難しいかもしれませんが、事業所や施設、病院などに訪問し、その場で説明いただける、見学会のようなものがあれば、ありがたいです。
- ・医療的ケアの方が使っている機器についての説明。
- ・不登校やひきこもり支援について
- ・小学校、中学校の支援級や通級指導教室、通常学級で受けることができる支援や実践内容などを知りたいです。
- ・どんなテーマでも興味あります
- ・特にはありません。
- ・子ども食堂やフリースクールについて
- ・乙訓圏域の、地域的な特徴や福祉サービスの状況、資源の紹介などしていただけると、新人としては、勉強になります。
- ・乙訓圏域の課題やニーズ(●●の事業所が少ないなど)等を一度整理して学ぶような機会があればありがたいです。
- ・成人の施設について、あまり詳しくないので、取り上げて頂けたら嬉しいです。
- ・どんな事でも知りたいと思っています。
- ・障害者グループホーム支援について
- ・学童期の発達段階を連続講座で教えていただけたらと思います。
- ・3回の研修内容、とても勉強になりました。うまくzoomが使えずご迷惑をかけてしまいすみません。ありがとうございました。
- ・前回出しました。
- ・今回のように様々な事業所さんを知る機会があるのは嬉しいです。また、支援のニーズの変化、方法の変化等変遷をテーマにした話をうかがいたいです。今だけではなくこれから先のことを考える機会に繋がるのではと考えます。
- ・個人的には、当初、初めた者としては、この研修も似たテーマを繰り返し行うで良いのではないかと、思います。